

小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ)



「ヒライ信」金偏の漢字
落語歳時記シリーズ

5月の落語「やかん」

無学者は論に負けず、と申しますが、知らないのに、知ったふりをする人がおりまして・・・

ハ「魚のイワシはなんでイワシっていうの？」

隠居「そんなこともわからんのか。いいか犬って知ってるか？」

ハ「もちろん知ってるよ。でも俺の聞ききたいのはイワシだよ。」

隠居「いいから聞け。犬は自分の縄張りを示すために、おしっこをして主張するわけだ。イワシもおんなじだ。イワシは岩におしっこをシーってして縄張りを主張する。そこから『イワシ』って呼ばれるようになった。」

ハ「ふーん。じゃあマグロは？」

隠居「マグロは1匹ではなく大群でやってくる。そうすると海面が真っ黒になる。」

真っ黒＝マグロになったというわけだ。「じゃあ鯛は？じゃあウナギは？…」などの質問に、こじつけを駆使し見事に答えていく。だが八五郎は諦めず、魚以外も質問する。

ハ「じゃあこの鉄瓶は？」

隠居「そんな鉄で出来ているビンだから鉄瓶だろ。」

ハ「じゃあこの土瓶は？」

隠居「簡単だ。泥で出来ているビンだから土瓶だろ。」

ハ「んんん。じゃ、やかんは？」

隠居「そりゃあ、矢でできては・・・ないな。その昔、やかんは水沸かしとっててだな。」

ハ「ちょっとまって？水沸かし？湯沸かしじゃなくて？」

隠居「無知な人間は嫌だね。考えてもみろ、水を沸かして初めて湯になるだよ。」

ハ「それじゃなぜ水沸かしが、やかんになったの？」

隠居「その昔、川中島の合戦で闇討ちにあった武士がいた。武士は兜が見つからず、代わりに水わかしをかぶった。そこに敵の矢が命中してカーンという音がした。矢が当たってカーンで、やかんだ。」



■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「プロに学ぶ小噺の話し方」「新しい医者」

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「五月人形」「柏餅」とかけて

次回は2024年6月3日(月)「梅干し」「あやめ」